

2018年5月1日

【ドリームムービー通信：第9号】

「会社の動画制作知識⑤映像制作の流れ-前編-」



GWの真っ只中！

皆さま、いかがお過ごしですか？

映画やドラマを楽しまれている方も多いのではないのでしょうか？

シャンパン、ワイン、ビール…

好きな飲み物をゆっくり飲みながら、

生ハムやチーズをつまんで…

いいですね～

映画といえば、

ロケハン、プリプロ、ポストプロ、完パケといった言葉

をお聞きになったことがあるのではないかと思います。

今回は、そのようなものを含め、

「◇映像制作の流れ」について、お話したいと思います。

=====

1分でわかる「映像制作の流れ」_ドリームムービー（1分10秒）

<https://youtu.be/QxyxzvKeils>

=====

「映像」とは、ここでは、下記のように定義しておきます※1。

画像（静止画、写真）、

動画（ビデオ、動きのある画像、それに含まれる声等の音声）、
文字（テロップ、字幕等）、
音声（BGM・効果音・声等）等を、
素材がバラバラの状態ではなく、
1つのファイル（完パケ※2）として編集され、視聴可能なもの

映像制作の概要は、先の1分動画に入れていますので、
以下で、少し補足したいと思います。

映像制作の流れは、大まかに、

企画 → 撮影 → 編集

という流れが一般的です。

「企画」は、「プリプロダクション」とも呼ばれ、
料理でいえば、レシピや調理法の考案にあたります。

「撮影」部分は、「プロダクション」とも呼ばれ、
料理でいえば、食材を集める場面にあたります。

「編集」は、「ポストプロダクション」とも呼ばれ、
料理でいえば、レシピに従い、食材を調理する場面にあたります。

映画やドラマをイメージしていただくと、
脚本を基に、監督が中心となって、
キャスティング（役者等の選定）等を行い、
撮影内容を考えます。

ターゲットとなる視聴対象を明確にし、
制作全般の資金を準備することも必要です。
このあたりは、プロデューサーの役回りが重要です。

よく「製作」と「制作」の違いが分からないと言われますが、

全体を企画して、資金面に関与する役回りが「製作」、
例えば、映画会社であったり、テレビ局等、
会社案内、商品・サービス紹介等の映像では、
まさに、皆さまの会社や組織ということになります。

それに対し、
映像そのものを中心となって作る役回りが「制作」、
例えば、映像の制作会社等です。

映画の最後に、エンドロールと言われる
クレジットが、下から上に流れていますね。

キャスト（役者）、プロデューサー、カメラマン、音声、照明、編集…
脚本、監督
企画・製作、制作…

今回は、後編として、

企画 → 撮影 → 編集

の細部を確認してみたいと思います。

※1：上田寛『最速で成功する脳の使い方
1日1分「脳内TV」で夢は叶う』興陽館／P39

※2：完パケ・・・完全パッケージメディアの略。
編集、MA（マルチオーディオ。音声編集作業）が終了し、
放送用・ビデオパッケージ用などのフォーマット組みが
完了した映像の事をいう。

最後に、本シリーズの概要と進捗状況です。

《メニュー概要》

- ビジネスで動画を活用するメリット → 済
- 映像・サービス種目 → 済
- 映像の活用事例（ライブ・SNS） → 済
- 映像制作の流れ → ◇今回、次回のテーマ
- 企画に必要な要素（5W1H）
- 予算書・スケジュール作成
- 映像の形式と構成・シナリオの重要度

ご質問等があればお気軽にお問合せください。

最後までお読みいただきありがとうございました。